

長崎市野母崎高浜海岸交流施設指定管理者候補者選定審査会
審査報告書

令和5年10月

令和5年10月30日

長崎市長 鈴木 史朗 様

長崎市野母崎高浜海岸交流施設指定管理者候補者選定審査会

会長 西村 宣彦



長崎市野母崎高浜海岸交流施設
指定管理者候補者選定審査会における審査結果について（報告）

長崎市野母崎高浜海岸交流施設の指定管理者候補者の選定に係る申請内容の審査を行いましたので、審査結果について次のとおり報告します。

1 審査結果

- 第一順位 株式会社 toitoitoi
- 第二順位 株式会社ふよう長崎
- 失 格 合同会社高浜スカイアンドシー

2 選定審査会の構成

- | | | |
|-------|-------|---------------------|
| 会 長 | 西村 宣彦 | 国立大学法人長崎大学経済学部 |
| 職務代理人 | 小疇 覚 | 九州北部税理士会長崎支部 |
| 委 員 | 岩本 諭 | つくるのわデザイン |
| 委 員 | 古賀 典明 | （一社）長崎国際観光コンベンション協会 |
| 委 員 | 山崎 聡 | （一社）野母崎産業活性化協会 |

3 審査の方法

応募者から提出された申請書類に不備がないか、募集要項に記載された応募資格等の要件を満たしているかを確認し、事業計画書等の内容について、面接により審査を行いました。

審査の結果、合計点数が最も高い応募者を第一順位として選定し、以下指定管理者として適当と思われる団体までの順位付けを行いました。なお、一団体については、採点結果が失格基準に該当しました。

審査にあたっては、公平性及び公正性を確保するため、団体名を伏せて実施しました。

4 審査の経緯

回数	開催日	内容
第1回	令和5年7月26日	【委員4人出席】 ・会長及び職務代理者の選出 ・指定管理者制度等の概要説明、募集要項等についての協議
第2回	令和5年8月16日	【委員4人出席】 ・現地視察 ・面接審査方法についての協議
第3回	令和5年10月28日	【委員4人出席】 ・審査方法等確認 ・面接審査、指定管理者候補者団体の選定

5 申請団体（届出順）

- (1) 株式会社 toitoitoi
- (2) 株式会社ふよう長崎
- (3) 合同会社高浜スカイアンドシー

6 採点結果（委員5人中4人による採点結果は別紙のとおりです。）

(1) 第一順位 株式会社 toitoitoi

地元の事前調査がしっかり行われており、ヒアリングの結果に基づいた企画や積極的な取組み姿勢が評価される。コミュニティスペースやオープンイノベーション拠点など新たな切り口での取組みに期待したい。

(2) 第二順位 株式会社ふよう長崎

施設管理については十分な実績があり、管理運営能力は高いと評価される。施設の設置目的を踏まえ具体的な事業の提案があったが、観光施設運営の経験が少ないこと、また、地元との事前調整が乏しいことから、提案された事業の実現性に不安が残る。

(3) 失 格 合同会社高浜スカイアンドシー

失格基準である「各大項目のいずれかにおいて合計点が50%未満であるとき」及び「技術点の合計点において60%未満であるとき」に該当することから失格となった。

地元とのつながりは強いが、取組みの提案が他と比べ新規性に欠けていることなどから相対的に点が低く、採点の結果、失格となった。

7 審査会総評

(1) 審査に係る総括的な講評

第一順位者については、新しい切り口での事業への意欲と可能性が評価された。地域課題の解決に向けた取組みに期待できる。第二順位者においては、施設の特徴を理解した提案と、安定した管理運営体制が評価された。

(2) 選定審査会からの要望

第一順位者については、指定管理の経験がないことから、施設の設置目的に沿った運営に五年間継続して取組み、確実な集客につなげてほしい。

(別紙) 採点結果

区分	評価項目			配点			採点 第一順位		採点 第二順位		採点 失 格	
	大項目	中項目	詳細	各 委員	全 体	計	株式会 社 toitoito i	株式会 社 ふよう長 崎	合同会 社 高浜スカ イアンド シー			
技術点	事業 計画	施設の設置目的と計画	施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか	8	32	144	26	24	12	108	99	43
		提案事業の運営	地域振興に資する自由な提案に基づく事業について、集客力のある魅力的な事業となっているか	12	48		33	27	12			
		サービスの向上	・施設の利用者の増加や利便性を高めるための提案、また、交流人口拡大や野母崎地域の施設や資源、事業者等との連携した事業の提案があるか ・内容に創意工夫が見られるか ・集客力のある提案か ・環境に配慮した持続可能な取組みがあるか ・サービスの対象者が明確か	12	48		36	36	15			
		評価と改善	事業の評価・改善体制があるか	4	16		13	12	4			
	基本 事項	基本方針	施設の管理運営業務について、施設の設置目的等に合った基本方針・理念を持っているか	4	16	48	13	12	6	35	37	17
		平等利用の確保	施設の利用に関し、公平性を確保する考え方と方策が適切であるか	4	16		11	12	5			
		個人情報の保護	施設の利用者の個人情報の保護に関する措置は適切か	4	16		11	13	6			
	管理 運営 体制	人員配置	職員配置は、施設の業務を行うのに適切か また連絡体制については適切か	8	32	80	22	26	12	56	62	28
		収支計画・施設管理	経理・施設管理業務に関する基準等は適切であるか	8	32		22	24	10			
		緊急時の対応	緊急時における連絡体制等危機管理体制は適切か	4	16		12	12	6			
技術点 計				68	272		199	198	88			
価 格 点	価格	経費	経費は適切か	34	136		108	104	128			
合 計				102	408		307	302	216			